

NSG

GROUP

NSG グループ

2022年3月期 通期決算報告

(2021年4月1日～ 2022年3月31日)

2022年5月12日

森 重樹

代表執行役社長 兼 CEO

細沼 宗浩

代表執行役副社長 兼 COO

楠瀬 玲子

執行役常務CFO

目次

1. 2022年3月期 通期 決算概要
2. 2023年3月期 業績予想について
3. リバイバル計画24 (RP24) に基づく構造改革施策の進捗
4. サステナビリティの推進
5. まとめ

1. 2022年3月期 通期 決算概要

連結損益計算書

建築用ガラス事業および高機能ガラス事業の好調により通年で黒字を継続し、売上高、営業利益は通期業績予想を達成。ロシアJV関連について、持分法適用会社への貸付金と投資の減損損失を計上したが、純利益は3期ぶりに黒字転換

(億円)	1-3月期 (3か月)			通期累計 (12か月)			2022年3月期 通期 業績予想
	2021年 3月期	2022年 3月期	差異	2021年 3月期	2022年 3月期	差異	
売上高	1,419	1,576	157	4,992	6,006	1,013	5,900
営業利益	51	55	4	131	200	69	200
営業利益率	3.6%	3.5%	△ 0.1pt	2.6%	3.3%	+0.7pt	3.4%
個別開示項目 (COVID-19関連)	△ 21	-	21	△ 161	-	161	-
COVID-19関連個別開示項目後 営業利益 (△損失)	30	55	25	△ 30	200	230	200
個別開示項目 (その他)	△ 61	△ 7	54	△ 59	36	95	40
個別開示項目後営業利益 (△損失)	△ 31	48	78	△ 89	236	325	240
金融費用 (純額)	△ 35	△ 34	1	△ 110	△ 125	△ 14	△ 130
持分法適用会社に対する 金融債権の減損損失	-	△ 34	△ 34	-	△ 34	△ 34	-
持分法による投資利益	13	19	6	22	75	53	70
持分法投資に関するその他の利益 (△損失)	6	△ 34	△ 40	6	△ 34	△ 40	-
税引前利益 (△損失)	△ 47	△ 36	11	△ 172	119	290	180
当期利益 (△損失)	△ 28	△ 38	△ 10	△ 163	68	231	120
純利益 (△損失)*	△ 30	△ 45	△ 15	△ 169	41	211	100
EBITDA	145	144	△ 1	468	567	98	

1-3月期は自動車用ガラス事業で減益。累計では自動車用ガラス事業の減益を建築用ガラス事業、高機能ガラス事業の増益がカバー、グループ全体で営業黒字を継続

【営業利益 (事業別) : 前年比】

(億円)	Q4	累計
建築用	+ 36	+ 125
自動車用	△ 49	△ 97
高機能	△ 1	+ 32
その他	+ 18	+ 10
グループ全体	+ 4	+ 69

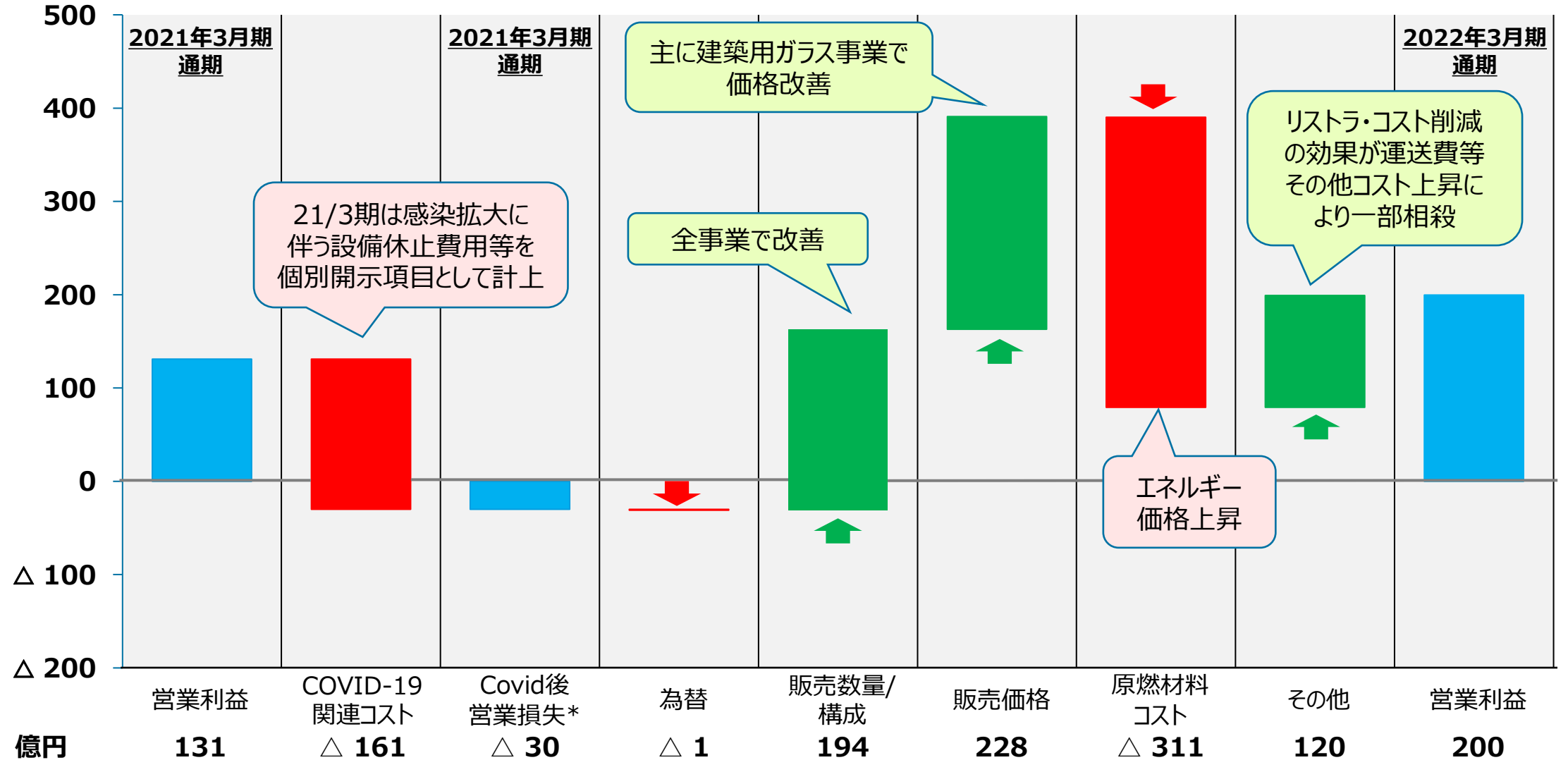
ロシアJV宛貸付金の減損損失 (△34億円)

ブラジル等持分法適用会社の業績回復

ロシアJV宛投資の一部減損損失 (△34億円)

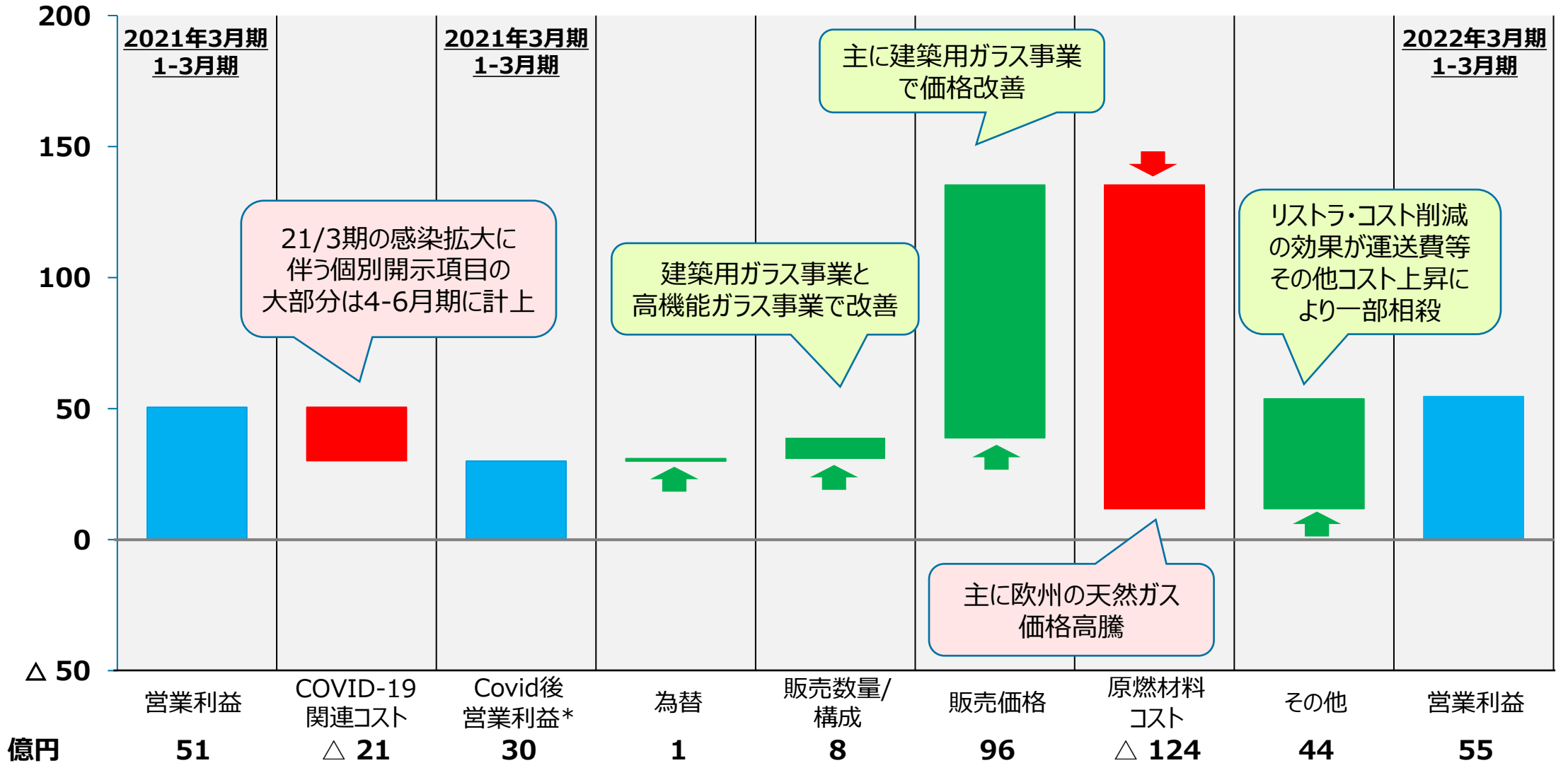
営業利益差異分析 (通期累計)

需要の回復に加え、価格改善、コスト削減により原燃材料コスト増加を吸収し、230億円改善



営業利益差異分析 (1-3月期)

原燃材料やその他コスト増加の影響を受けたが、価格改善及びコスト削減効果で25億円改善



エネルギーコスト内訳 (2021年3月期→2022年3月期)

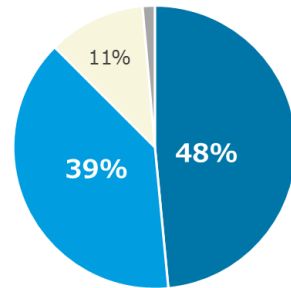
2022年3月期通期のエネルギーコストは、COVID-19禍からの回復による生産量増とエネルギー価格高騰により、2021年3月期よりグループ全体で+59%、天然ガスは+89%。

特にエネルギーコストに占める天然ガスの割合は価格高騰により、48%から58%にまで上昇。

また地域別では欧州、事業別では建築用ガス事業が天然ガス使用量が大きくコスト上昇の影響を受けた

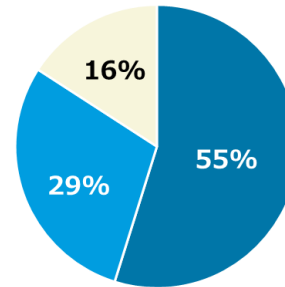
2021年3月期 (通期)

グループ全体 (エネルギー別)



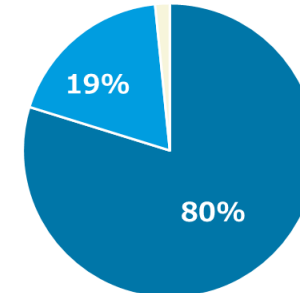
+59%、天然ガス+89%

天然ガスグループ全体 (地域別)

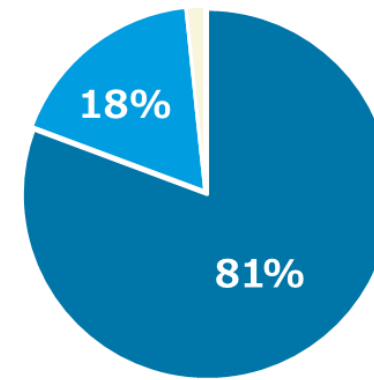
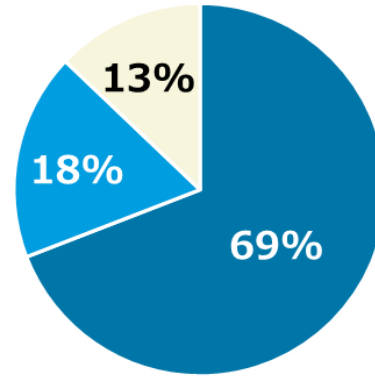
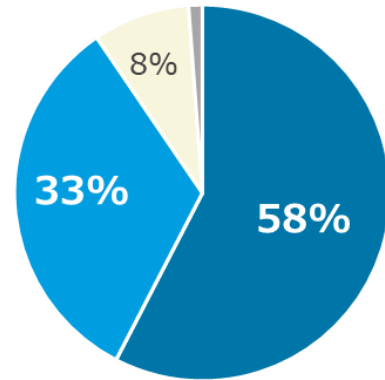


欧州+138%

天然ガスグループ全体 (事業別)



建築用+91%



■ 天然ガス ■ 電気 ■ 重油 ■ その他

■ 欧州 ■ アジア ■ 米州

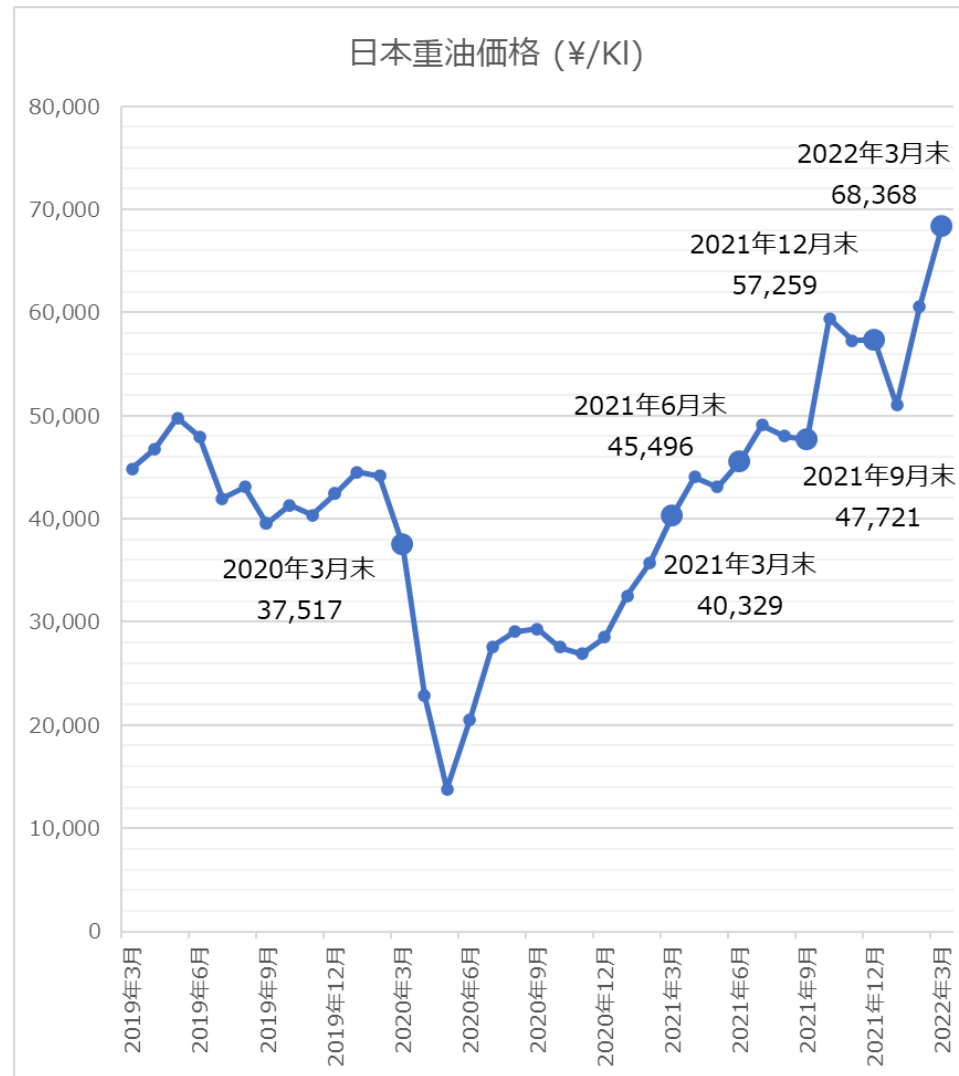
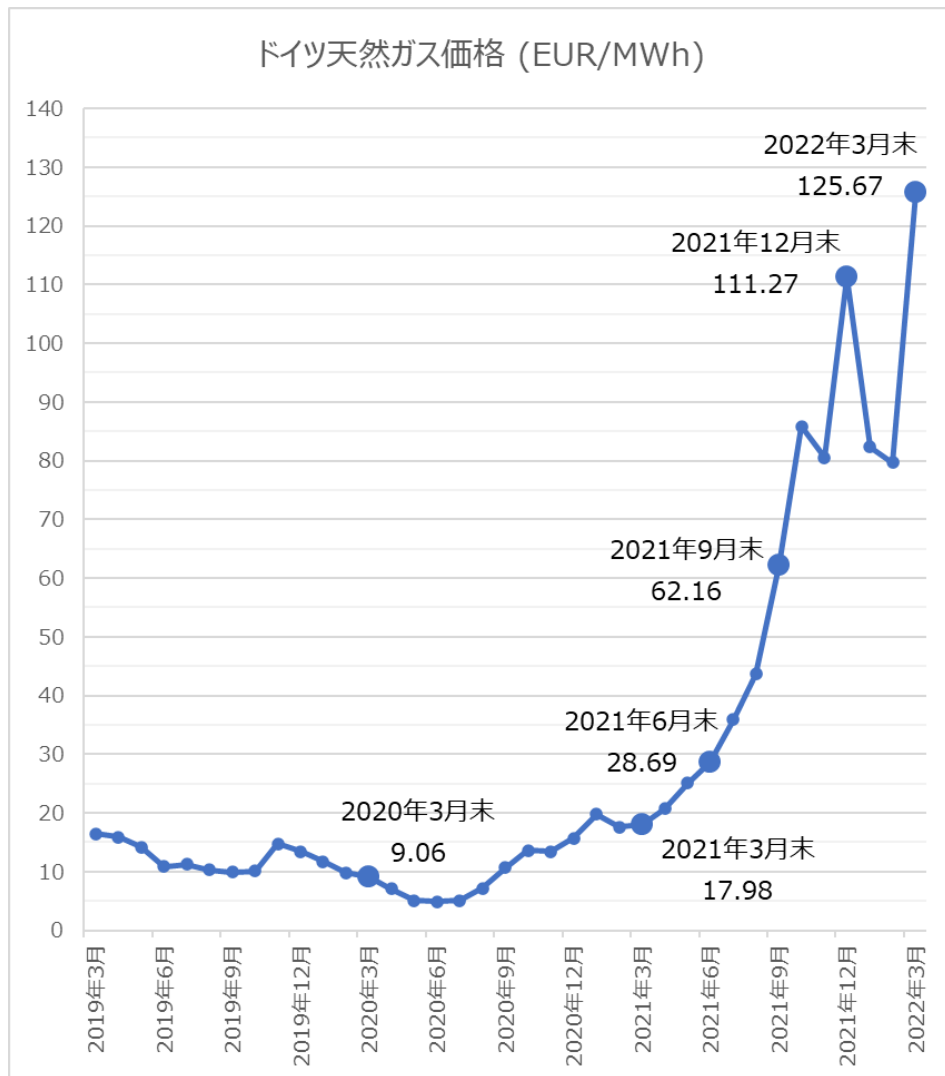
■ 建築用 ■ 自動車用 ■ 高機能

2022年3月期 (通期)

エネルギー価格の推移

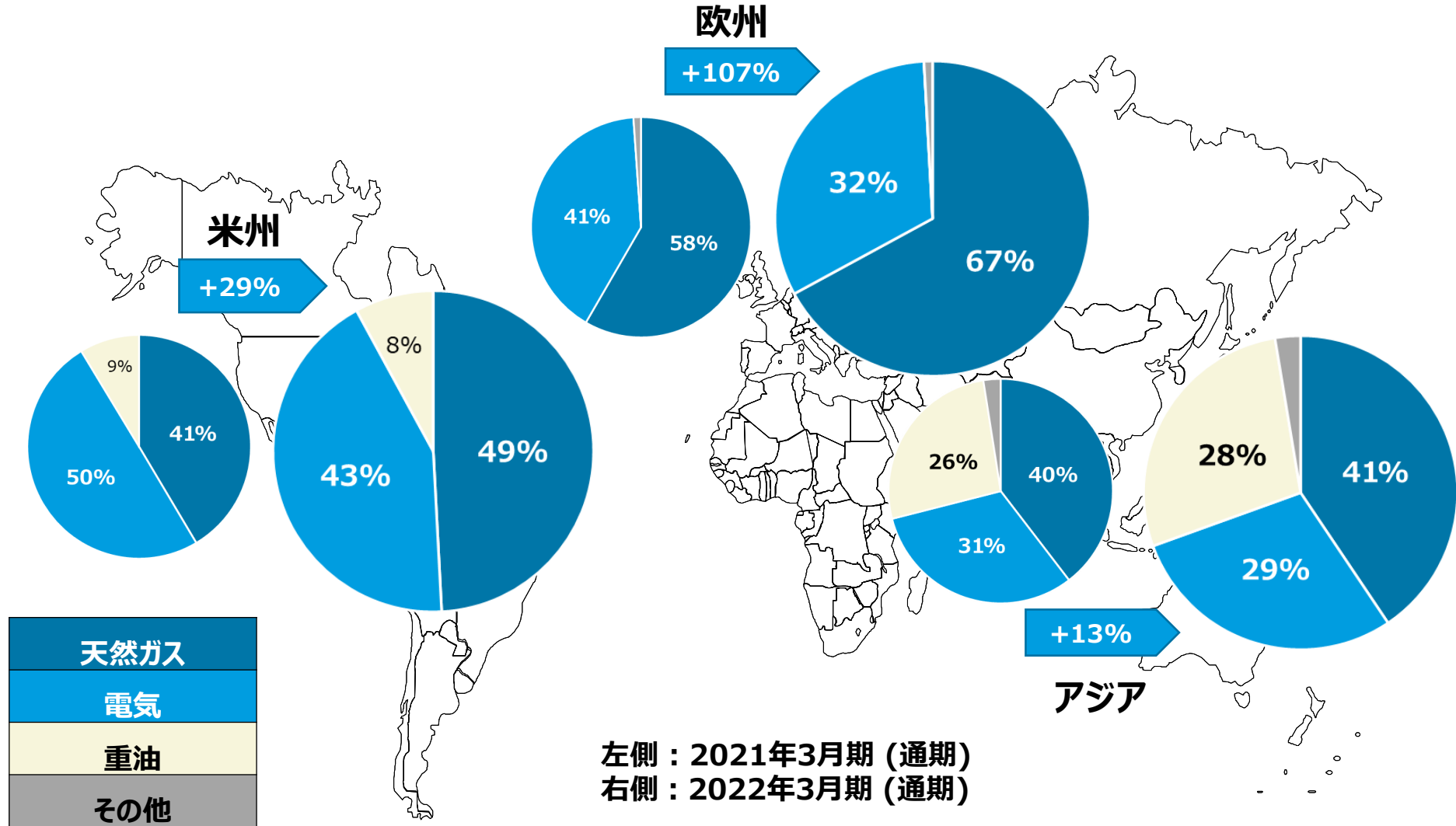
ドイツの天然ガス価格：2022年3月末は2021年3月末対比7.0倍に急騰。

日本の重油価格：2022年3月末は2021年3月末対比70%上昇



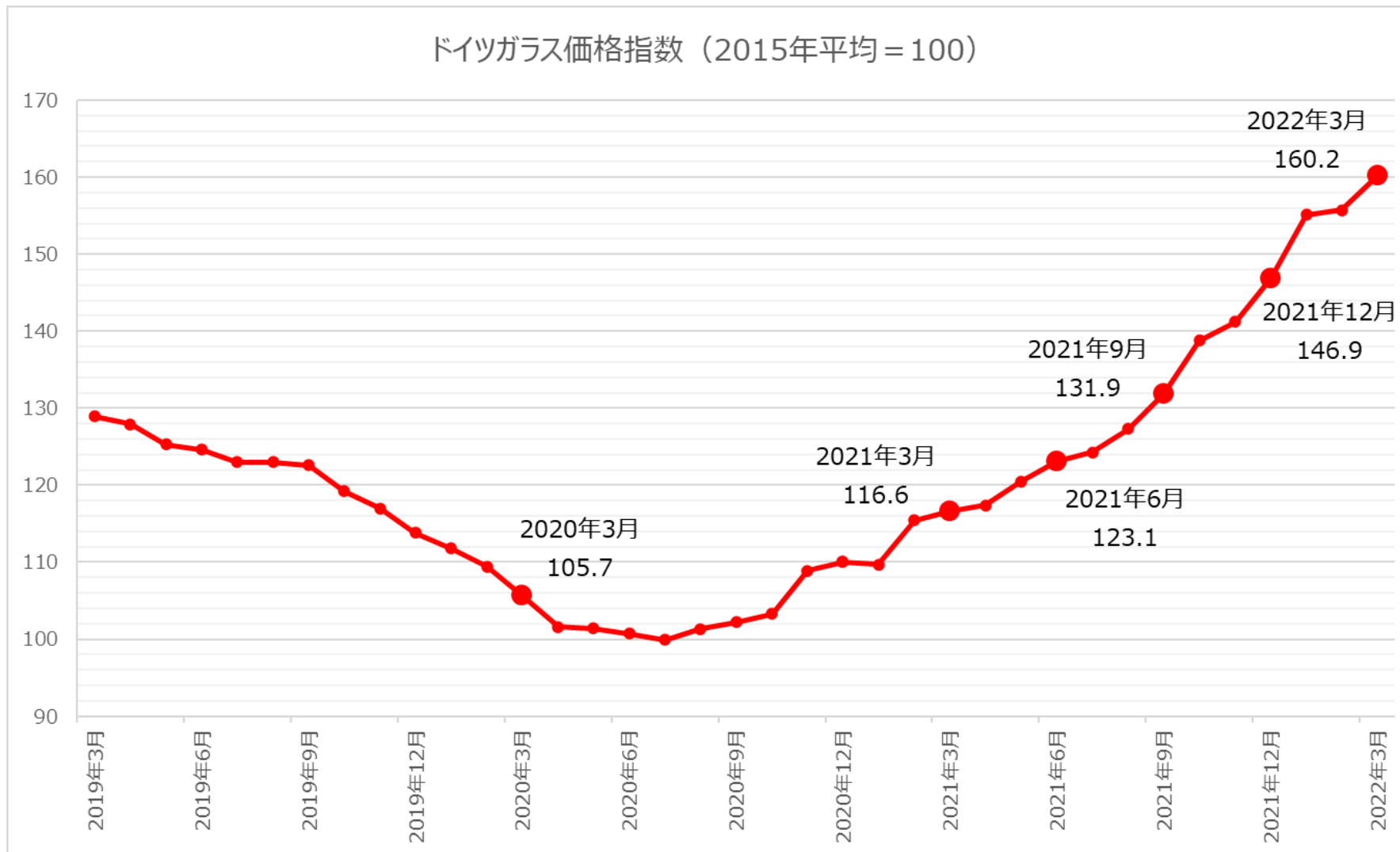
エネルギーコスト内訳 (地域別)

天然ガス価格の急騰は欧州、重油価格の上昇はアジアのエネルギーコストに大きな影響を与える



ガラス価格の推移

ドイツのガラス価格は、2022年3月は2021年3月比37%上昇。
天然ガスを中心とした原燃材料価格高騰の影響を一部軽減



連結貸借対照表

純利益の計上等により自己資本比率が改善、15%超まで回復。
 RP24の財務数値目標を単年度で達成

(億円)	2021年 3月末	2022年 3月末	増減	
資産合計	8,250	9,393	1,143	
非流動資産	5,750	6,370	621	有形固定資産、デリバティブ金融資産、退職給付に係る資産の増加
流動資産	2,500	3,022	523	
負債合計	7,452	7,699	247	
流動負債	2,878	3,067	189	棚卸資産、デリバティブ金融資産の増加
非流動負債	4,574	4,632	58	買掛債務の増加
資本合計	798	1,694	896	
親会社の所有者に帰属する持分	629	1,453	824	純利益の計上、エネルギーヘッジの評価益、円安の影響により改善、自己資本比率15%超まで回復
自己資本比率 (%)	7.6%	15.5%	+7.9pt	
ネット借入	4,117	3,652	△ 466	主にデリバティブ金融資産の増加による

連結キャッシュ・フロー計算書

利益改善、キャッシュ管理活動の継続に加え、事業譲渡収入もあり、累計のフリー・キャッシュ・フローは前年度から大きく改善し、プラス。RP24の財務数値目標を単年度で達成

(億円)	1-3月期 (3か月)			通期累計 (12か月)		
	2021年 3月期	2022年 3月期	差異	2021年 3月期	2022年 3月期	差異
営業活動によるキャッシュ・フロー	164	239	76	211	451	240
(うち、運転資本の増減)	97	144	47	51	57	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	77	△ 27	△ 104	△ 256	△ 228	28
(うち、有形固定資産の取得)	△ 87	△ 71	16	△ 392	△ 331	61
フリー・キャッシュ・フロー	241	212	△ 28	△ 45	223	268
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 148	△ 89	59	135	△ 208	△ 344
現金及び現金同等物の増減	93	124	31	90	15	△ 76
現金及び現金同等物 期末残高				535	600	65

利益改善やキャッシュ管理の徹底により、前年度から大幅に改善

バッテリーセパレーター事業譲渡収入 (62億円)

前年度から大幅に改善、RP24の目標数値を単年度で達成

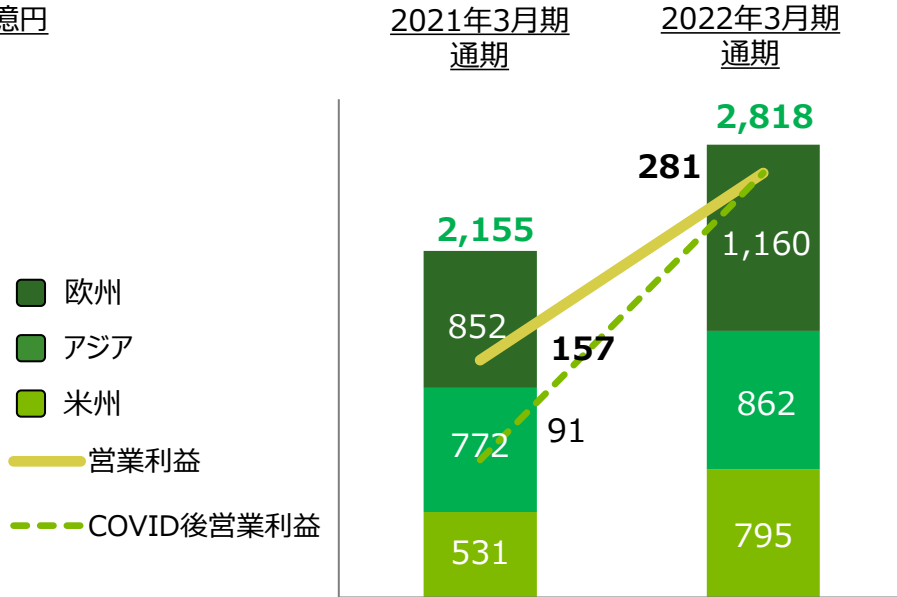
セグメント情報

(億円)	2020年3月期 通期			2021年3月期 通期				2022年3月期 通期			増減	
	売上高	%	営業利益	売上高	%	営業利益	COVID後* 営業利益	売上高	%	営業利益	売上高	営業利益
建築用ガラス事業	2,337	42%	173	2,155	43%	157	92	2,818	47%	281	663	125
欧州	871	16%		852	17%			1,160	19%		309	
アジア	914	16%		772	15%			862	14%		90	
米州	552	10%		531	11%			795	13%		264	
自動車用ガラス事業	2,810	51%	61	2,452	49%	18	△ 78	2,762	46%	△ 79	311	△ 97
欧州	1,198	22%		1,036	21%			1,167	19%		131	
アジア	671	12%		606	12%			604	10%		△ 2	
米州	941	17%		810	16%			992	17%		182	
高機能ガラス事業	401	7%	71	368	7%	67	65	398	7%	99	30	32
欧州	71	1%		64	1%			79	1%		15	
アジア	317	6%		293	6%			306	5%		12	
米州	13	0%		11	0%			13	0%		2	
その他	14	0%	△ 75	17	0%	△ 111	△ 108	27	0%	△ 101	10	10
合計	5,562	100%	230	4,992	100%	131	△ 30	6,006	100%	200	1,013	69

建築用ガラス事業 (累計：増収・増益 1-3月期：増収・増益)

全地域で堅調な需要により大幅な増収を継続。エネルギー価格高騰の影響を受けるが価格改善およびコスト削減により軽減し、大幅な増益を達成、2020年3月期をも大きく上回る

億円



欧州 (累計：増収・増益 1-3月期：増収・増益)

- 供給能力を上回る需要により販売数量および価格が上昇
- 1-3月期も原燃材料費や輸送コスト高が継続したが、燃料サーチャージ制の導入により収益性は10-12月期比で大幅改善

アジア (累計：増収・増益 1-3月期：増収・増益)

- 日本の販売数量および価格が回復、日本以外でもCOVID-19影響後の経済回復を反映して好調を維持
- 太陽電池パネル用ガラスの需要は堅調

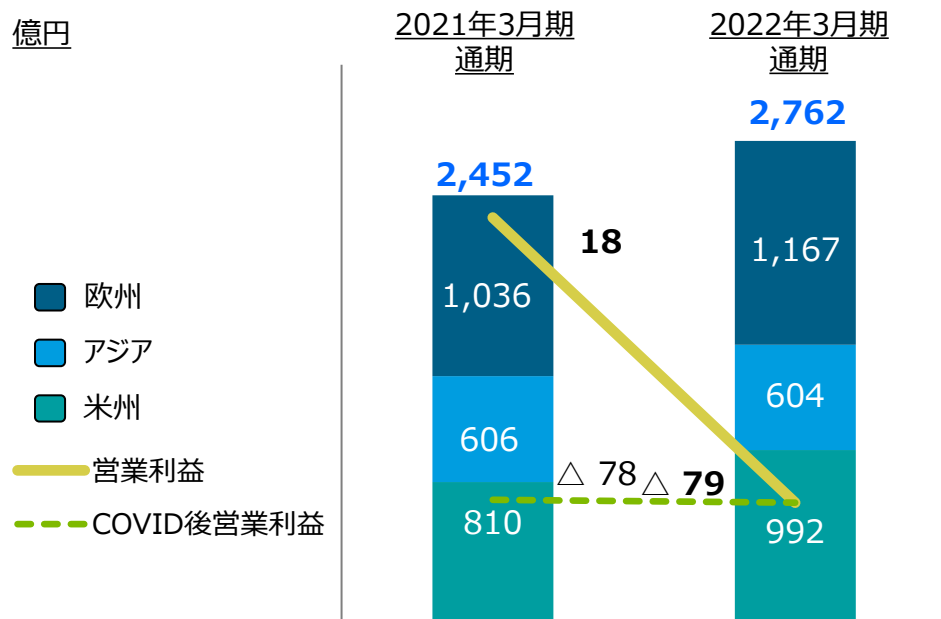
米州 (累計：増収・増益 1-3月期：増収・増益)

- 北米は、フロート窯の定期修繕と輸送コンテナ不足による出荷の制約が続くが、強い需要を背景に販売数量および価格が上昇
- 太陽電池パネル用ガラスの需要は堅調
- 南米は強い需要が継続

(億円)	累計(12か月)	1-3月期(3か月)			通期累計(12か月)		
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	差異	2021年3月期	2022年3月期	差異
売上高	2,337	594	750	155	2,155	2,818	663
欧州	871	245	318	73	852	1,160	309
アジア	914	189	215	26	772	862	90
米州	552	160	216	56	531	795	264
営業利益	173	41	77	36	157	281	125
COVID後営業利益*	167	34	77	43	91	281	190

自動車用ガラス事業 (累計：増収・減益 1-3月期：増収・減益)

1-3月期は増収だが、部品不足による自動車生産制約の影響が続く。
原燃材料費高騰の影響を受け、コスト削減努力にもかかわらず減益となり、累計でも減益



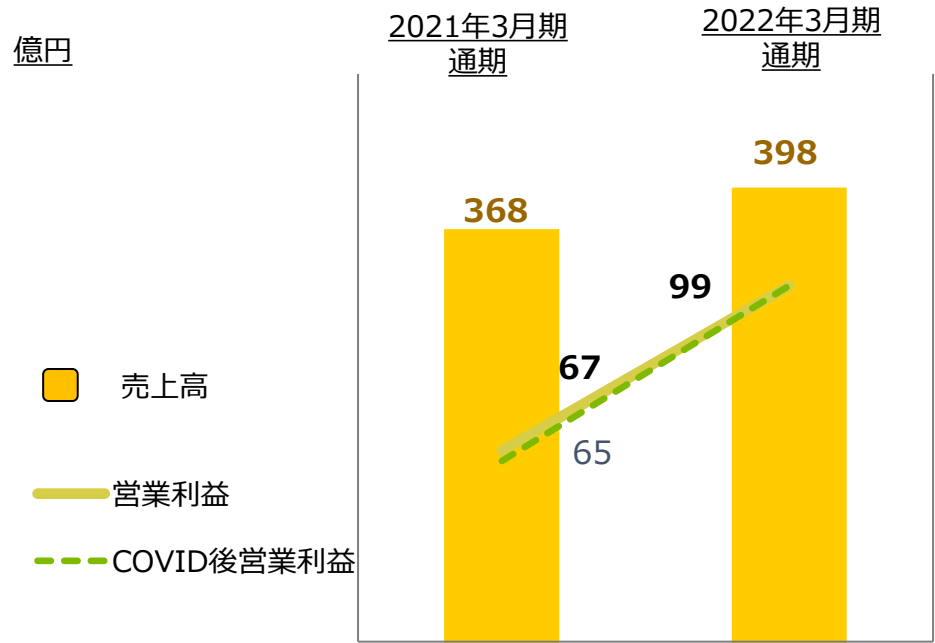
欧州 (累計：増収・減益 1-3月期：減収・減益)
 アジア (累計：減収・減益 1-3月期：減収・減益)
 米州 (累計：増収・減益 1-3月期：増収・減益)

- 1-3月期も、半導体等自動車部品不足による自動車生産の制約の影響を受け、欧州、日本を含むアジアで販売数量が減少
- 原燃材料コスト高騰が続くなか、コスト削減努力も継続、10-12月期比赤字幅は縮小したが、1-3月期は全地域で減益、累計でも減益

(億円)	累計(12か月)	1-3月期(3か月)				通期累計(12か月)		
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	差異	2021年3月期	2022年3月期	差異	
売上高	2,810	716	730	14	2,452	2,762	311	
欧州	1,198	315	303	△ 12	1,036	1,167	131	
アジア	671	172	160	△ 13	606	604	△ 2	
米州	941	229	266	38	810	992	182	
営業利益	61	29	△ 20	△ 49	18	△ 79	△ 97	
COVID後営業利益*	47	17	△ 20	△ 37	△ 78	△ 79	△ 1	

高機能ガラス事業 (累計：増収・増益 1-3月期：増収・増益)

引き続きCOVID-19の影響があった前年同期から事業環境が改善、増収増益を継続
(9月以降は売却したバッテリーセパレーター除く)



高機能ガラス事業

- ファインガラスは、継続的なコスト削減による事業基盤の強化や売上構成の改善により業績は改善
- プリンター用レンズは、在宅勤務、オンライン授業向けにプリンター需要が引き続き増加
- グラスコードはアフターマーケット用を中心に需要が堅調。メタシャイン[®]は化粧品向け市場で需要回復の兆し

(億円)	累計(12か月)		1-3月期(3か月)		通期累計(12か月)		
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	差異	2021年3月期	2022年3月期	差異
売上高	401	102	90	△ 12	368	398	30
営業利益	71	22	21	△ 1	67	99	32
COVID後営業利益*	70	22	21	△ 1	65	99	34

2. 2023年3月期 業績予想について

2023年3月期業績予想の前提

グループ	増収だが営業利益は減益、純利益は横ばいの計画 引き続きRP24の重点施策「財務基盤の回復」を推進 <ul style="list-style-type: none">● 需要回復に伴う販売数量増加、全事業で価格転嫁を実施し増収の見込み● 一方で、ロシアのウクライナ侵攻の影響を受けてエネルギー価格高騰、世界的なインフレ傾向等で投入コスト増加が継続、グループ全体では営業利益は減益の見込み● 引き続き全社的なコスト削減に努め、営業利益の改善に注力
建築用ガラス	全地域で良好な需給環境が継続するが、欧州を中心にエネルギー価格高騰の影響が続く <ul style="list-style-type: none">● 欧州：需給引締めを受けた価格上昇は継続、天然ガス価格高騰等で収益性は低下● アジア：日本の数量および価格も回復基調にあり、好調継続● 北米：経済活動回復に伴い域内市場が好調 南米：タイトな需給環境が継続、アルゼンチンの新フロート窯の稼働が貢献● 太陽電池パネル用ガラス：ベトナムでの定期修繕などもあるが、堅調な需要が続く
自動車用ガラス	自動車需要は堅調だが、半導体等部品不足と原燃材料費高騰の影響が続く <ul style="list-style-type: none">● 全地域で強い自動車需要と在庫逼迫感は継続● 半導体等部品不足は続くが、徐々に解消していく見込み● 日本の定期修繕は順調に進捗● 原燃材料費高騰の影響を価格上昇、コスト削減により軽減、黒字転換を目指す
高機能ガラス	全体として事業環境の改善が継続 <ul style="list-style-type: none">● ファインガラスは、売上構成の改善と継続的なコスト削減が貢献● プリンター用レンズは当面在宅勤務による需要増加の恩恵が続く● グラスコードは、アフターマーケット用を中心に需要拡大

2023年3月期通期業績予想

数量増加、価格上昇を見込み、対前年度増収ながら、ロシアのウクライナ侵攻の影響で広く事業を展開する欧州を中心に原燃材料費等コスト上昇の影響を見込み、減益を予想。収益力回復のため、コスト削減と価格転嫁、キャッシュ管理に努め、RP24の重点施策「財務基盤の回復」を推進

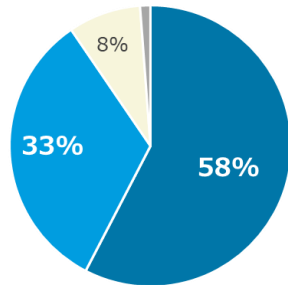
(億円)	2022年3月期		2023年3月期		増減	
	実績		予想		上期	通期
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上高	2,907	6,006	3,200	6,500	293	494
営業利益	127	200	70	180	△ 57	△ 20
個別開示項目 (その他)	45	36	20	20	△ 25	△ 16
個別開示項目後営業利益	172	236	90	200	△ 82	△ 36
金融費用 (純額)	△ 58	△ 125	△ 70	△ 130	△ 12	△ 5
持分法適用会社に対する 金融債権の減損損失	-	△ 34	-	-	-	34
持分法による投資利益	33	75	20	40	△ 13	△ 35
持分法投資に関するその他の利益 (△損失)	-	△ 34	-	-	-	34
税引前利益	147	119	40	110	△ 107	△ 9
当期利益	96	68	20	50	△ 76	△ 18
純利益*	86	41	20	40	△ 66	△ 1

エネルギーコスト内訳 (2022年3月期実績→2023年3月期予想) NSG GROUP

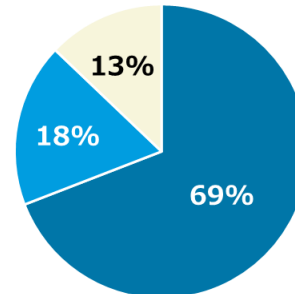
2023年3月期もロシアによるウクライナ侵攻の影響を受け、エネルギー価格の高騰を見込み、前年度対比グループ全体で+43%、天然ガスは+61%。特に欧州の天然ガスの高騰を見込む。

2022年3月期 (通期) 実績

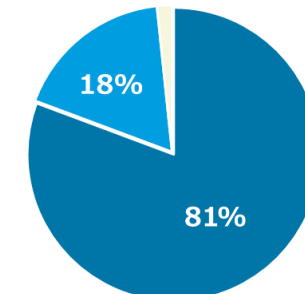
グループ全体 (エネルギー別)



天然ガスグループ全体 (地域別)



天然ガスグループ全体 (事業別)

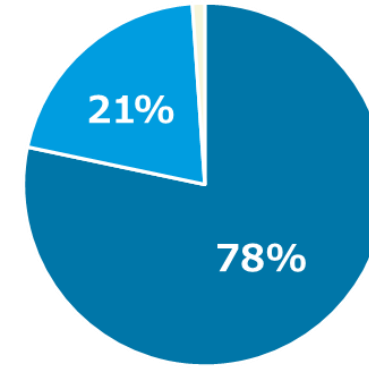
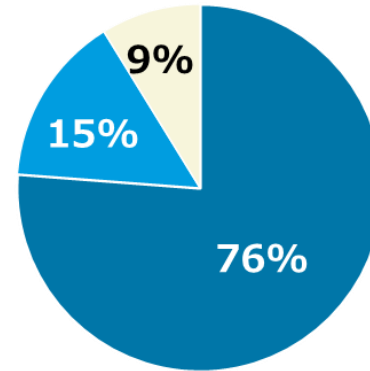
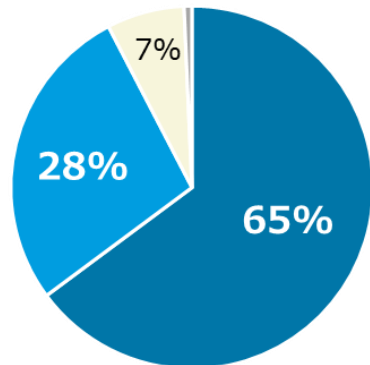


コスト増

+43%、天然ガス+61%

欧州+78%

建築用+57%



■ 天然ガス ■ 電気 ■ 重油 ■ その他

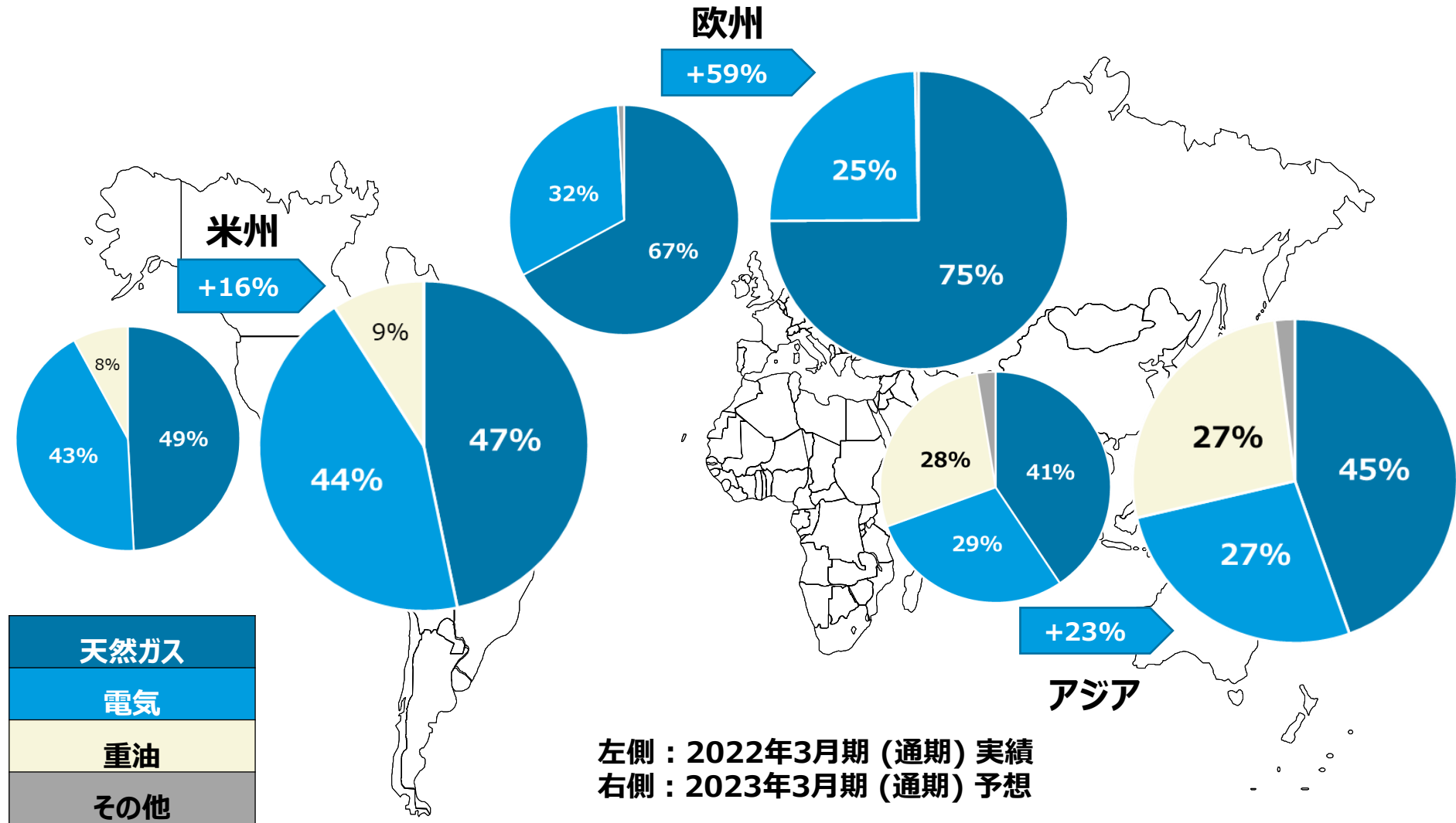
■ 欧州 ■ アジア ■ 米州

■ 建築用 ■ 自動車用 ■ 高機能

2023年3月期 (通期) 予想

エネルギーコスト内訳 (地域別)

高騰した天然ガスが引き続き欧州で大きな影響を与える



自動車用ガラス事業の収益改善策

事業環境

- 自動車需要は依然強いが、部品不足に伴う自動車生産の制約
- 欧州の天然ガスを中心とした原燃材料費が高騰
- CASEの急激な進展により、自動車産業を支えるサプライチェーンは大きく変化
 - ヘッドアップ・ディスプレイ付きフロントガラス、5G対応ガラスアンテナア、EV向け省エネコーティングガラスなどのニーズは高まる一方、リソース配分の選択と集中が必要になる
 - 補修用ガラスでもCASEへの対応が増加



収益改善策

- コスト削減
 - 製造拠点や物流拠点の統廃合も視野に入れ、一昨年以来の人員削減とRP24に基づく抜本的なコスト構造の改革に取り組
- 高付加価値化
 - 高精度フロントガラスなどの当社独自の技術を活用し、高付加価値製品を拡大
 - 補修用ガラスにおけるADAS対応とセールスネットワーク拡大
- 自動車メーカーへの価格転嫁の推進

自動車の先端技術に対応し強みを生かした高付加価値製品を提供

- 環境貢献：フロントガラスヒーティング
- 安全・安心：ADAS*1対応
- コネクテッド：次世代アンテナ、HUD*2
- 快適・便利：Low-Eコーティング
- デザイン性：複雑形状ガラス

*1 ADAS: 先進運転支援システム (Advanced Driver Assistant System)
 *2 HUD: フロントガラスなどに直接情報を映し出すことができる技術 (Head Up Display)

3. リバイバル計画24 (RP24) に基づく構造改革施策の進捗

リバイバル計画24 (RP24) に基づく構造改革施策の進捗

RP24に基づき、持続的な成長が可能な事業体質を目指して主要施策を遂行中。
財務目標数値では、自己資本比率、フリー・キャッシュ・フローについて単年度で達成

3つの改革

コスト構造改革

- ・ 人員削減：欧米の自動車用ガラス事業を中心に拠点、製造ラインを統廃合、22/3期で約1,000人を削減、21/3期と合わせて20/3期比2,340人の削減（同136億円削減）（退職コストは21/3期に引当済）
- ・ コスト削減：「改革・革新」活動を通じた直接費低減を推進、期末までに50億円を削減
- ・ 自動車用ガラス事業における追加コスト削減は、計画を上回る約68億円を実施

事業構造改革

- ・ アルゼンチン新フロート窯建設は順調に進捗、2023年3月期上半期稼働予定
- ・ 世界初、バイオ燃料を100%利用したフロートガラス製造実験に成功



アルゼンチン新フロート窯全景

企業風土改革

- ・ 「インクルージョン&ダイバーシティ (I&D)」：国際ガラス年の2022年、全ての人が「ガラス」のように輝ける場の提供を目指しグローバルで「国際女性デー2022」に様々な活動を実施。
- ・ 「双方向コミュニケーションの活性化」：全従業員意識調査とそれに基づく対話促進

2つの重点施策

財務基盤の回復 (2022年3月期 通期実績)

- ・ 税前利益、純利益は黒字に転換。純損益は前年同期から211億円の大幅改善、自己資本比率も15%超まで回復
- ・ 2022年3月末現預金残高604億円、未使用融資枠532億円

高収益事業へのポートフォリオ転換

- ・ First Solar社の生産能力増強に対して、当社太陽電池パネル用ガラスの生産能力増強を検討中
- ・ 高弾性・高強度ガラスファイバー「MAGNAVI®」には、カーボンファイバー代替を中心に数多くの引き合い
- ・ 日射光の透過率を向上させた「NSG ボタニカル™」シリーズを立ち上げ、収穫量最大化への貢献を目指す

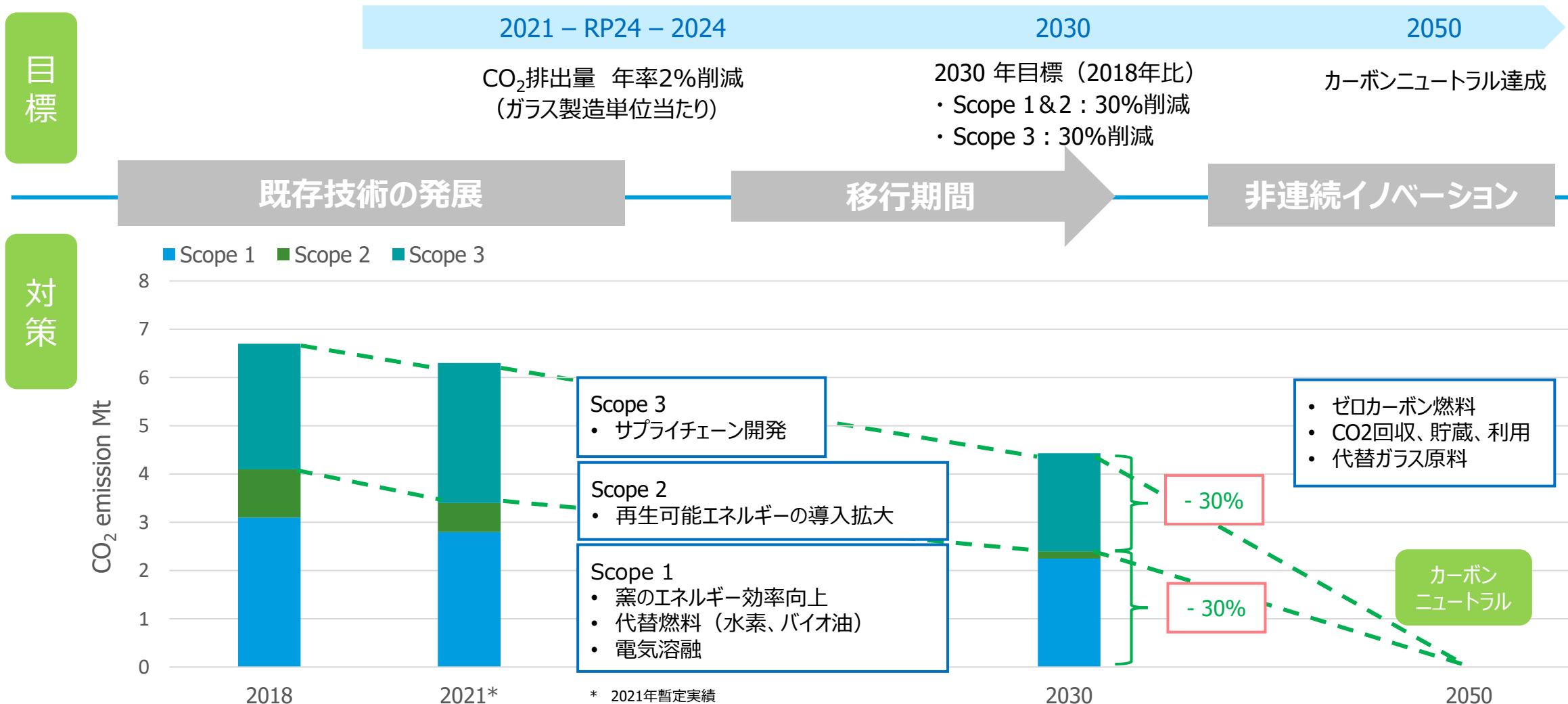


4. サステナビリティの推進

2050年カーボンニュートラルへのロードマップ

2050年のカーボンニュートラル達成を宣言

2030年のCO2排出量削減目標を2018年比21%から30%に引き上げ



5. まとめ

まとめ

1. 2022年3月期 通期決算

- 建築用ガラス事業および高機能ガラス事業の好調により黒字を継続、売上高と営業利益は通期業績予想を達成
- ロシアJV関連について、持分法適用会社への貸付金と投資の減損損失を計上
- 事業業績等により自己資本、キャッシュ・フローもさらに改善

2. 2023年3月期 通期業績予想

- 需要回復に伴う販売数量増加、全事業で価格転嫁を進め増収の見込み
- 一方で、ロシアのウクライナ侵攻の影響や世界的なインフレ傾向でエネルギー価格高騰等による投入コスト増加は継続、グループ全体では営業利益は減益、純利益は横ばいの見込み
- 引き続き全社的なコスト削減に努め、営業利益の改善に注力

3. リバイバル計画24 (RP24) に基づく構造改革施策の進捗

- コスト構造改革：人員削減およびコスト削減が進捗
- 事業構造改革：アルゼンチン新フロート窯建設は順調に進捗、2023年上期稼働予定
- 財務基盤の回復：財務目標数値では、自己資本比率、フリー・キャッシュ・フローについて単年度で達成

4. サステナビリティの推進

- 2050年にカーボンニュートラル達成をコミット
- 2030年にCO2排出量の削減目標を2018年比21%から30%に引き上げ

ご注意

当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場の経済環境及び競争環境、製品需給、為替・金利相場、原燃料市場環境、法規制の変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

日本板硝子株式会社

補足資料

- 連結損益計算書 四半期別推移
- 事業部門別・地域別業績 四半期別推移
- 四半期別セグメント情報
- 個別開示項目
- 地域別売上高及び営業利益
- 為替レート・為替感応度
- 減価償却費・資本的支出・研究開発費
- 2021年11月～2022年4月 主なニュースリリース

連結損益計算書 四半期別推移

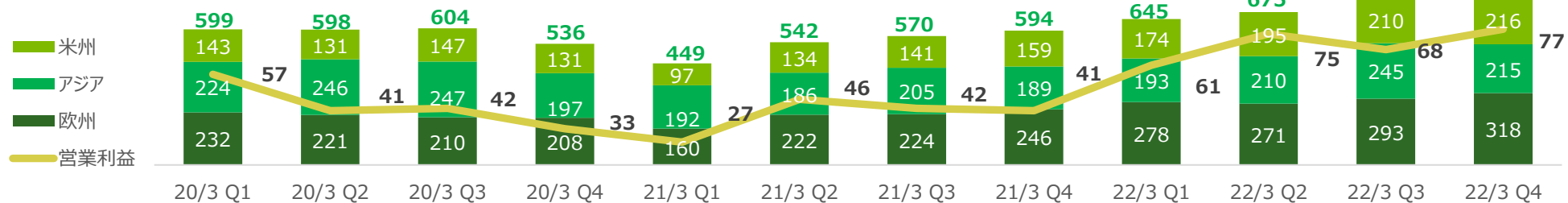
(億円)	2020年 3月期				2021年 3月期				2022年 3月期			
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期
売上高	1,471	1,415	1,372	1,304	919	1,297	1,358	1,419	1,477	1,430	1,523	1,576
営業利益 (△損失)	88	61	31	32	△ 6	38	48	51	72	55	18	55
営業利益率	6.0%	4.3%	2.3%	2.5%	-	2.9%	3.5%	3.6%	4.9%	3.9%	1.2%	3.5%
個別開示項目 (COVID-19関連)	-	-	-	△ 22	△ 115	△ 13	△ 12	△ 21	-	-	-	-
COVID-19関連個別開示項目後 営業利益 (△損失)	88	61	31	10	△ 121	25	36	30	72	55	18	55
個別開示項目 (その他)	△ 6	△ 16	△ 22	△ 174	△ 1	△ 8	10	△ 61	△ 2	47	△ 2	△ 7
個別開示項目後営業利益 (△損失)	82	45	9	△ 164	△ 122	17	46	△ 31	70	102	17	48
金融費用 (純額)	△ 35	△ 28	△ 32	△ 23	△ 24	△ 30	△ 21	△ 35	△ 29	△ 29	△ 32	△ 34
持分法適用会社に対する 金融債権の減損損失	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△ 34
持分法による投資利益	5	3	4	△ 1	△ 4	2	10	13	15	19	22	19
持分法投資に関するその他の利益 (△損失)	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	△ 34
税引前利益 (△損失)	52	20	△ 19	△ 188	△ 149	△ 11	35	△ 47	55	92	7	△ 36
当期利益 (△損失)	31	△ 7	△ 5	△ 194	△ 165	△ 7	37	△ 28	29	67	10	△ 38
純利益 (△損失)*	29	△ 10	△ 7	△ 201	△ 164	△ 9	34	△ 30	25	61	0	△ 45
EBITDA	175	142	115	118	61	127	135	145	165	146	111	144

*親会社の所有者に帰属する当期利益 (△損失)

事業部門別・地域別売上高及び営業利益 四半期別推移

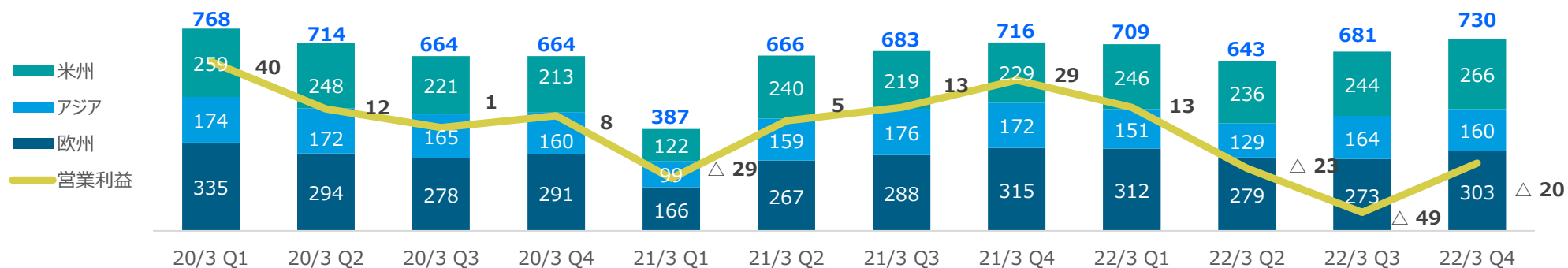
単位：億円

建築用ガラス事業



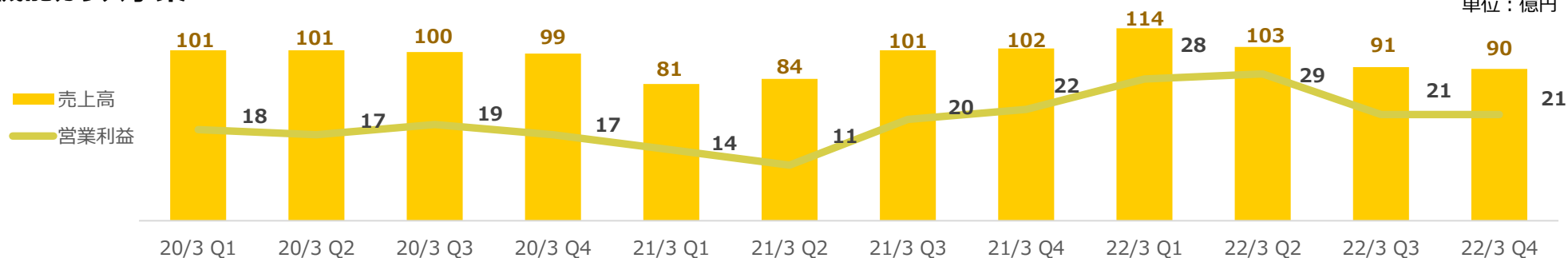
自動車用ガラス事業

単位：億円



高機能ガラス事業

単位：億円



セグメント情報

(億円)	2020年3月期					2021年3月期					2022年3月期				
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	累計	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	累計	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	累計
売上高: 建築用ガラス	599	598	604	536	2,337	449	542	570	594	2,155	645	675	748	750	2,818
欧州	232	221	210	208	871	160	222	224	246	852	278	271	293	318	1,160
アジア	224	246	247	197	914	192	186	205	189	772	193	210	245	215	862
米州	143	131	147	131	552	97	134	141	159	531	174	194	210	216	795
営業利益	57	41	42	33	173	27	46	42	41	157	61	75	68	77	281
COVID後営業利益*	-	-	-	27	167	△ 22	41	38	34	91	-	-	-	-	-
売上高: 自動車用ガラス	768	714	664	664	2,810	387	666	683	716	2,452	709	643	681	730	2,762
欧州	335	294	278	291	1,198	166	267	288	315	1,036	312	279	273	303	1,167
アジア	174	172	165	160	671	99	159	176	172	606	151	129	164	160	604
米州	259	248	221	213	941	122	240	219	229	810	246	236	244	266	992
営業利益	40	12	1	8	61	△ 29	5	13	29	18	13	△ 23	△ 49	△ 20	△ 79
COVID後営業利益*	-	-	-	△ 6	47	△ 93	△ 6	4	17	△ 78	-	-	-	-	-
売上高: 高機能ガラス	101	101	100	99	401	81	84	101	102	368	114	103	91	90	398
欧州	17	18	16	20	71	13	14	19	18	64	21	18	20	20	79
アジア	80	79	81	77	317	65	68	79	81	293	90	82	68	66	306
米州	4	4	3	2	13	3	2	3	3	11	3	3	3	4	13
営業利益	18	17	19	17	71	14	11	20	22	67	28	29	21	21	99
COVID後営業利益*	-	-	-	16	70	12	10	21	22	65	-	-	-	-	-
売上高: その他	3	2	4	5	14	2	4	5	6	17	9	8	3	7	27
営業利益	△ 27	△ 9	△ 31	△ 26	△ 93	△ 18	△ 24	△ 27	△ 42	△ 111	△ 31	△ 25	△ 22	△ 24	△ 101
COVID後営業利益*	-	-	-	△ 27	△ 94	△ 18	△ 20	△ 27	△ 43	△ 108	-	-	-	-	-
売上高: 合計	1,471	1,415	1,372	1,304	5,562	919	1,297	1,358	1,419	4,992	1,477	1,430	1,523	1,576	6,006
営業利益	88	61	31	32	212	△ 6	38	48	51	131	72	55	18	55	200
COVID後営業利益*	-	-	-	10	190	△ 121	25	36	30	△ 30	-	-	-	-	-

個別開示項目

(億円)	2021年3月期	2022年3月期	
	通期 (累計)	1-3月期 (3か月)	通期 (累計)
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)関連*	△ 161	-	-
政府支援による収益	26	-	-
設備休止等に係る費用	△ 187	-	-
リストラクチャリング費用	△ 147	△ 6	△ 7
固定資産等の減損損失/減損損失戻入益	△ 13	1	1
固定資産等の売却による利益	71	-	-
事業の譲渡による利益	-	-	44
係争案件の解決に係る収益	34	-	-
子会社及びジョイントベンチャーの売却による利益	7	-	-
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)関連 政府支援による収益	-	-	4
その他	△ 5	△ 3	△ 6
個別開示項目 純額	△ 214	△ 7	36

* 2021/3期は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のまん延により影響を受ける直接費と回収不能な事業運営コスト、及びそれに関連して政府により支給される補助金を個別開示項目として計上。これらにはCOVID-19により生産活動に従事できない従業員への給与支払や休止設備の維持費用、施設の安全な作業環境整備のために生じた清掃費用などの直接費用を含む。

地域別売上高及び営業利益

(億円)	2021年3月期 通期			2022年3月期 通期			増減	
	売上高	%	営業利益 (△損失)	売上高	%	営業利益 (△損失)	売上高	営業利益 (△損失)
欧州	1,952	39%	53	2,406	40%	△ 8	454	△ 60
アジア	1,671	33%	128	1,772	30%	204	100	77
米州	1,352	27%	61	1,800	30%	105	448	43
その他 *	17	0%	△ 111	27	0%	△ 101	10	10
合計	4,992	100%	131	6,006	100%	200	1,013	69

* 「その他」セグメントの売上高、営業利益は地域別に区分していない。

為替レート・為替感応度

期中平均レート

	2020年 3月期				2021年 3月期				2022年 3月期				2023年 3月期
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	見通し
英ポンド	141	137	138	138	133	135	136	139	153	152	153	153	157
ユーロ	124	121	121	121	118	121	123	124	132	131	131	130	133
米ドル	109	109	109	109	107	106	106	106	109	109	112	112	114
ブラジル・リアル	28.0	27.6	27.2	26.4	19.9	19.8	19.7	19.7	20.6	20.8	20.7	21.0	20.0
アルゼンチン・ペソ	4.70	超インフレ会計の適用により、期末レートのみ使用											

期末レート

	2020年 3月期				2021年 3月期				2022年 3月期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
英ポンド	137	133	144	133	132	135	141	152	153	150	156	160
ユーロ	123	118	122	119	121	124	127	130	132	129	131	136
米ドル	108	108	109	108	107	105	103	111	111	112	116	122
ブラジル・リアル	28.3	26.0	27.1	20.8	19.9	18.7	19.8	19.1	22.3	20.6	20.4	25.5
アルゼンチン・ペソ	2.53	1.88	1.82	1.68	1.53	1.38	1.22	1.20	1.16	1.13	1.12	1.10

為替感応度

他の前提に変動がない条件で、為替レートが他の通貨に対して1%円安になった場合の影響額

	2022年 3月期
資本	40.0億円の増加
当期利益	1.0億円の改善

減価償却費・資本的支出・研究開発費

(億円)	2021年3月期 通期	2022年3月期 通期	2023年3月期 見通し
減価償却費	358	367	390
資本的支出	433	286	400
通常投資	190	40	
戦略投資、他	243	246	
研究開発費	83	77	95
建築用ガラス事業	23	24	
自動車用ガラス事業	23	23	
高機能ガラス事業	9	9	
その他	28	22	

2021年11月～2022年4月 主なニュースリリース

(<https://www.nsg.co.jp/ja-jp/media>)



2021年11月11日	TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言への賛同を表明
2021年11月25日	三井住友銀行の「ESG/SDGs評価」に基づくコミットメントライン・シンジケーションで最上位評価の取得
2021年11月30日	マシンビジョン向けSELFOC® Lens Array「SLA 5AG」の開発に成功
2022年1月14日	ポーランドにおけるガラスメーカーとして初めて再生可能エネルギーによる電力購入契約（PPA）を締結
2022年1月21日	抗菌・抗ウイルスガラス「NSG Purity™」を京都府舞鶴市の医療機関及び神奈川県相模原市のテレワーク施設等へ寄贈
2022年2月2日	高弾性・高強度ガラスファイバー「MAGNAVI®」を新開発
2022年2月28日	CDP2021「サプライヤー・エンゲージメント評価」において最高評価「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定
2022年3月8日	IWD（国際女性デー）に寄せて楠瀬玲子NSGグループ インクルージョン&ダイバーシティ（I&D）ステアリングコミッティー議長からのメッセージ
2022年3月11日	「健康経営優良法人2022（大規模法人部門）」に認定
2022年4月1日	作物の収穫量の最大化に寄与 温室向けガラス製品ブランド「NSG ボタニカル™」シリーズを立ち上げ
2022年4月14日	世界初、バイオ燃料を100%利用したフロートガラス製造実験に成功
2022年4月21日	ロシアにおける通商取引の停止について

NSG

GROUP